

## 動画を撮り・編集し・DVDに焼く

ビデオカメラを持っていないから縁のないこと、と、諦めていませんか。皆さん手持ちの携帯電話でもデジタルカメラでも動画撮影は可能です。ここ数年のデジカメでは高画質なハイビジョン撮影までが可能になっており、挿入しているメモリーカード容量によっては 30 分から 1 時間は撮影出来ます。

動画へ手出しをしない人の理由に「写真は撮影してプリント屋に持っただけで良いが、動画は編集と DVD への焼き付けを自分でやらなければならない」があります。確かに、編集したほうが気持ちよく見ることが出来ますが、編集がなくても動きのない写真よりは数倍その時の雰囲気・臨場感が伝わってきて楽しいものです。編集も DVD 焼き付けも Windows 標準装備のソフトで行うことが出来ますから、思い切って手を出してみましょう！

講座はデジカメによる動画撮影から実施しますから、デジカメ、カードリーダー(PCにSDカード差込口のない人)、書込んでいないDVDを持参する必要があります。

**注記：** 今回の講座は編集から Win7 に付いている DVD メーカーの使い方も説明する予定でしたが、2時間掛けても説明出来ないことが分かり、編集の大半とDVDメーカーの使い方は講座での説明は省略します。ただし、この手順書後半に使い方を記述していますので、是非勉強して下さい。質問には自由時間に対応します。

### 1. 各自のPC状態により以下のソフトを入手する

\*Windows ムービーメーカー：[ここ](#)をクリック

(Win Live ムービーメーカーは多少の違いはあっても基本は同じですから、取り込む必要はありません)

**Win8 の人は DVDFkick を** (Win7 の人は DVD メーカーがあることを確認すること。なければ DVDFkick を取り込む。メーカーソフトが使える人は取込不要、ただし、サポートなし)

\*DVD Flick：DVD に焼き付けるためのソフト、[ここ](#)をクリック

\*DVD Flick 日本語化：[ここ](#)をクリック (64bitPC では program files(x86)にインストールされるので、日本語化のフォルダもその DVDFkick を指定する必要がある)



取込・インストール方法は会場で説明します。Win ムービーメーカーが無い人で WiFi を持ってない人は、WiFi 保有者の近くに座るようにして下さい。

Win8 のムービーメーカー起動アイコンはこんなところに

### 2. デジカメで動画を撮影する

ボタン位置が分かれば**押すだけで撮影が始まり、再び押せば撮影が止まり**、自動保存が行われるのが一般的です (詳しくはカメラの取扱説明書を読んで下さい)。



撮影ボタンが付いている機種



フィルムマークに合わせて使用する機種



### \* 撮影のポイント

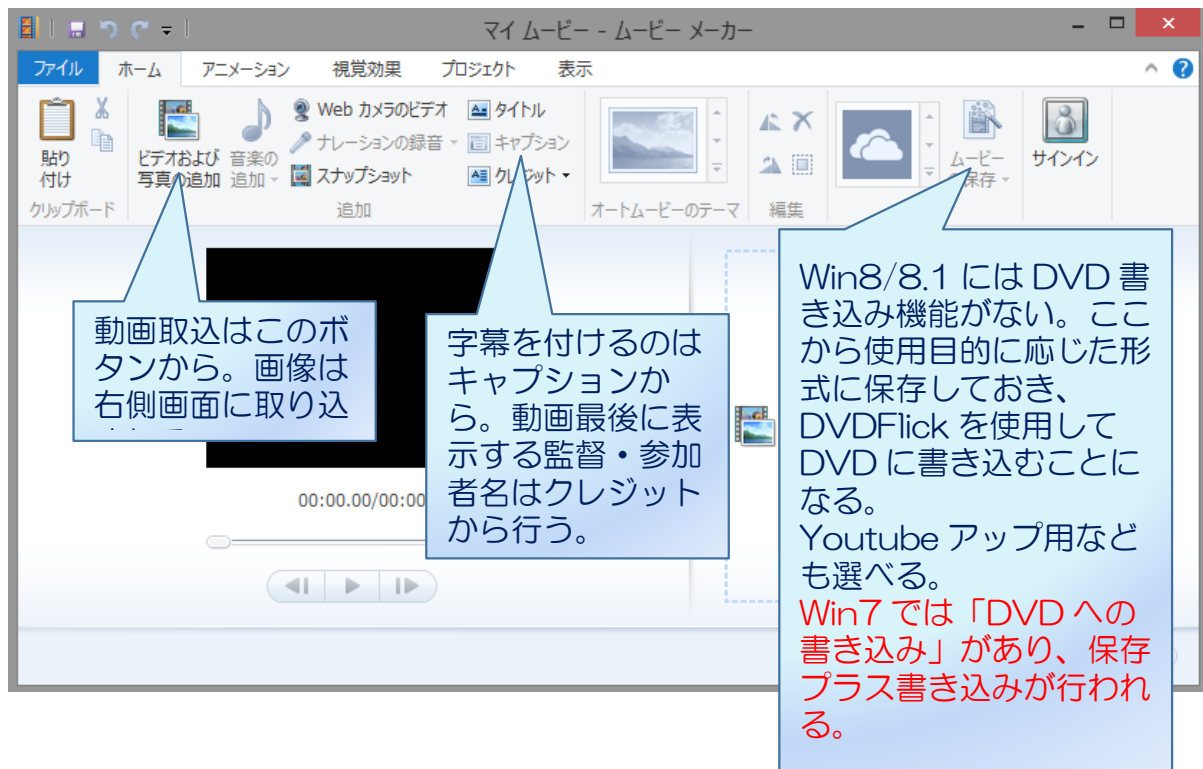
- ①カメラ移動はゆっくり、亀の動き程度。通常の目の移動速度で撮影されたものを見ると目が回ります。
- ②手ぶれを押さえるカメラ保持。出来れば一脚使用が好ましい。
- ③ズームの楽しさは諦める。ズームは出来る機種と出来ない機種があるが、ズーム速度はビデオカメラの 10 倍ほども早くズバッと変わってしまうので多用しないほうが良い。
- ④最初に会場とか場所とかの全景を短時間(5 秒)でも撮影しておく。映画監督になった気持ちで物語をイメージしながら色々な場面を撮影すると、興味ある動画になる。
- ⑤メインだけでなく周辺・周辺の状況も撮影する。孫の動きだけでなく周辺の状況も入れておくことで場の雰囲気伝えられるようになる。
- ⑥同じ画面(状態)を長時間撮るのではなく、切り替えながら撮影する(1 画面 15 秒~30 秒が良いという人もいます)。
- ⑦講座では取込と編集の練習のために**撮影・停止を4回程繰り返し複数ファイル**作っておくことが望ましい(1 回の撮影・停止で自動的に1 ファイルが作られます)。

## 3. 動画ファイルをパソコンに取り込む

使い慣れたカメラ付属ソフトなどがある場合はそれで行えばよく、肝心なのは**保存場所をしっかりと把握していること**だけです。ソフトを使用しない場合は次の手順で行いますが、写真取込みと同じ手順です。

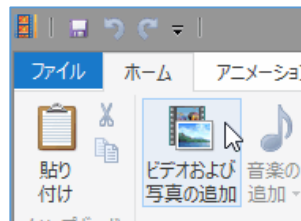
- ①SD カードをパソコンに挿入する(挿入口のないPCではカードリーダー使用)
- ②写真と同じ位置に動画ファイルがあります(一般的に)  
拡張子はカメラおよび設定によって異なりますが avi や mov が多い。
- ③**ビデオフォルダにドラッグ&ドロップ**。尚、SD カードからの移動で良い場合は右クリックでドラッグ&ドロップして、表示されるダイログから「移動」を選択する

## 4. Windows ムービーメーカーを起動する



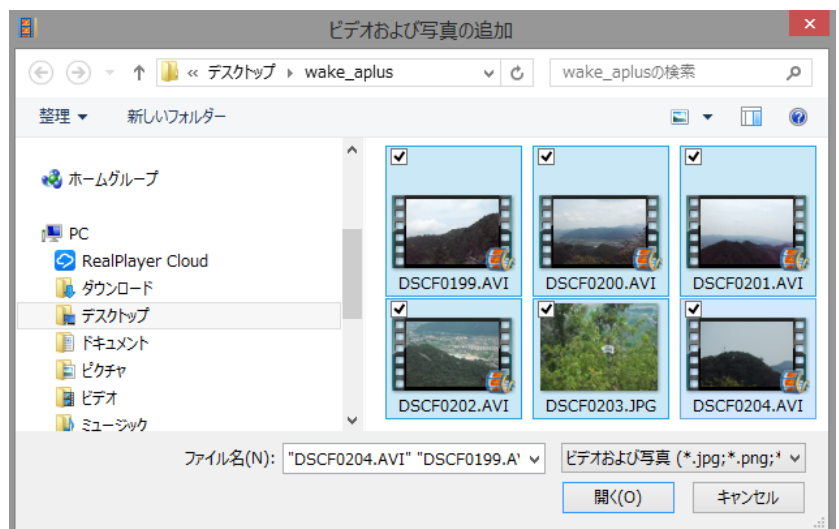
## 5. ファイルを取込む

### ①ビデオおよび写真をクリック

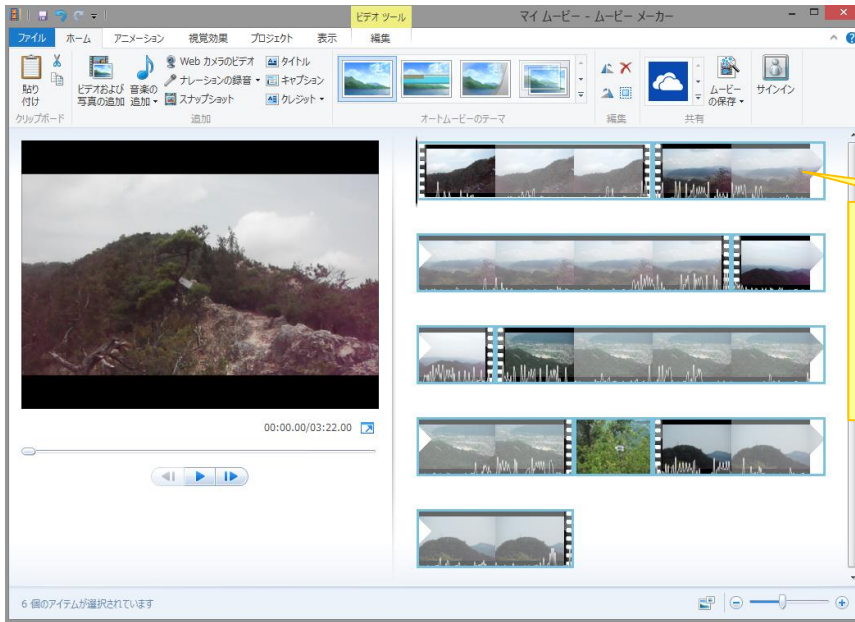


### ②ファイルを選択。動画と静止画像を同時に取り込むことも出来る。

どのような動画でもムービーメーカーで読み込めるといわけではなく、動画の種類やPCの環境によっては読み込めないものもある。クエッションマークが表示されて動画を読み込めず、映像が表示されない場合は、その動画はムービーメーカーで編集できない。



＊取り込まれた状態



取り込まれてからは「クリップ」と呼びます。書類留めのクリップからきているようです。次に説明する分割でも、分割された単位をクリップと表現します。

6. タイトル追加

タイトルボタンをクリックすると先頭クリップの前に黒背景画面が挿入され、そこにタイトルを記入します。背景色は変更出来ると共に、タイトル文字の表示は 24 種類の効果の中から選択することが出来ます。

This block contains a detailed screenshot of the title editing interface with several callouts:

- タイトルボタンの追加:** A red circle highlights the 'Add Title' button in the top toolbar. A tooltip below it says: "タイトルの追加  
選択したアイテムの前に新しいタイトルを追加します。"
- フォント:** A callout points to the font dropdown menu, stating: "フォント 日本語フォント(太文字で書かれている)を選ぶ"
- フォントサイズ:** A callout points to the font size dropdown, set to 48.
- フォント色:** A callout points to the font color selection tool.
- 背景色:** A callout points to the background color selection tool.
- タイトル時間:** A callout points to the duration settings, showing 0.00 and 7.00 seconds.
- 特殊効果:** A callout points to the effects menu, stating: "特殊効果 個人的には「シネマティック」効果が面白いと感じている。"
- Text Entry Note:** A large yellow callout at the bottom states: "Word のテキストボックスの扱いと同じ。テキスト枠は一つしか表示されないの、行追加は改行して行う。 **マイムピー**文字列を選択状態にしてから各自の**タイトル**を入力する。"



## 7. BGM 挿入

動画に音声が入っている場合は BGM が邪魔になることもあります。そうでない場合は BGM があるほうが楽しいですね。ただし、後述の注意事項を良く理解して使う必要があります。

このボタンをクリックするとエクスプローラ画面が表示されるので、音楽が保存されている箇所から挿入する音楽を選ぶ。

このソフトで扱えない形式の音楽の場合は、右図のような緑色ではなく、最初のクリップに黄色い△に♪が表示されます。

挿入された BGM。

フェードインは音楽の始まりが徐々に音が大きくなり、フェードアウトは音楽の終了が徐々に小さくなる。

挿入された BGM が画像再生時間より長い場合は、自動的に画像エントで終了になる。フェードアウトさせると違和感なくなる。

音楽のボリューム

フェードイン: 遅い

フェードアウト: 遅い

開始時間の設定 開始時間: 0.00 秒

開始位置の設定 開始位置: 0.00 秒

停止位置の設定 停止位置: 258.95 秒

オーディオ

編集

分割

00:40.03/03:29.00

03:29.03/03:36.00

A 和気アルブ...

A 和気中学...

A 作製 201...

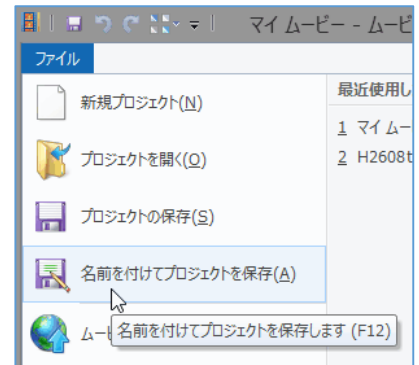
### < 音楽の取扱い注意事項 >

- ①音楽の拡張子は mp3 が確実。wma 可能とあるが私は跳ねられている。
- ②個人として楽しむにはふんには著作権のある音楽でも使用可能。
- ③Youtube にアップする場合は著作権のある音楽使用不可。実際にはアップした時点で BGM は自動削除され動画だけになる。

## 8. プロジェクトの保存

作業状態を保存するのがプロジェクト保存です。プロジェクトを開けば何時でも追加修正が可能です。尚、保存に関する注意事項ではありませんが、**元ファイル（動画・画像・音楽）を移動削除した場合はプロジェクトでは認識しなくなります。**言葉の上で動画の取込などと表現していますが、これはファイルそのものの取込みではなくファイルの情報を読み込んで内容を表示しているものです。プロジェクトを開くとファイルの位置まで読みに行っているものなので、ファイルの移動削除があると読み取れなくなって表示出来なくなるものです。

ファイル[メニュー]→名前を付けてプロジェクトの保存  
→ファイル名入力→保存（拡張子は wlmp）

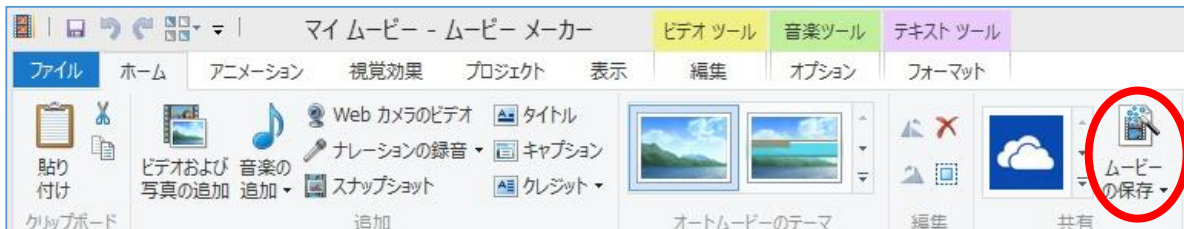


## 9. ムービーの保存

ムービー保存して初めて Windows ムービーメーカーに頼らずに動画として見る事が可能になります。Win7 までは直接 DVD に焼き付ける機能がありましたが、Win8 からは無くなりましたので、ムービー保存後に専用ソフトを使って DVD に焼く必要があります。

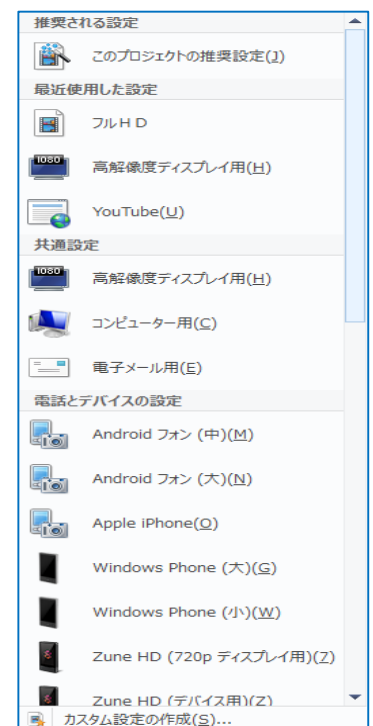
ムービー保存も DVD 焼き付けも大変長い時間を必要とします。画像サイズや PC 性能にもよりますが鑑賞時間の数十倍かかることもありますから気長に構えて下さい。

ファイル[メニュー]→ムービーの保存



設定	画面サイズ (ピクセル)	1分あたりの容量
このプロジェクトの推奨	1280*720	72.44MB
高感度ディスプレイ用	1920*1080	173.03MB
DVD への書き込み *1	720*480	21.39MB
コンピュータ用	854*480	40.71MB
電子メール用	426*280	11.42MB
Youtube 用 *2	1280*720	37.14MB

- ◆ 通常は取込動画に合わせた画面サイズになっており TV 画面とは合っていないことあり。
- ◆ プロジェクトの推奨は取込動画・画像を元に PC が判断したもの
- ◆ \*1 は Win8 には表示されないなので、カスタム設定から 720\*480 と入力する。(ビットレート



## 2799kbps フレームレート 29.97fps)

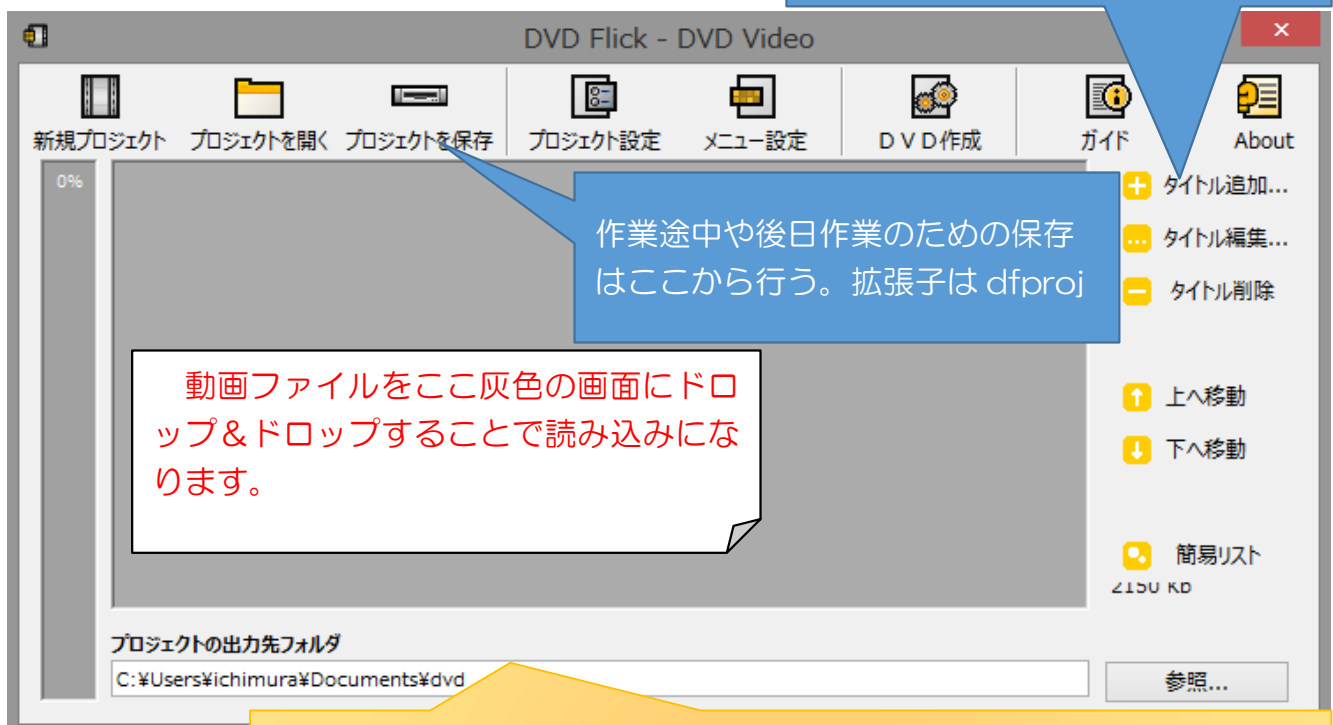
- ◆ \*2 は PC 鑑賞を対象にした場合であって、携帯・スマホであれば電子メール用が良い
- ◆ DVD は 720\*480 です。高感度用にはブルーレイが必要になります。
- ◆ 拡張子は wmv と mp4 を選べるが、wmv は MediaPlayer 専用なので汎用性の高い mp4 が良い
- ◆ Win7 で「DVD への書き込み」を選ぶと、最初に HDD に wmv でのムービー保存が行われ、それが完了してから DVD への書き込み画面が表示される。

## 10. DVD に焼く (Win8 の場合)

- 1). DVD Flick を起動する
- 2). DVD Flick の画面の説明



タイトルを追加することが出来ます。事前に作成している場合は2重タイトルになります。



DVD に直接焼く機能はなく、一度 DVD 化したものを保存しておいて、次に DVD 焼き付けソフト ImbBurn を立ち上げて DVD に焼き付けるステップになる (自動処理)。その保存場所をここで指定する。  
**パス要注意：日本語名が入っていると次に進めません。Dドライブに kari などのフォルダを作って、参照から指定しなおすすめがある。**  
 尚、そこに保存されるファイルは書き込み後に削除することが望ましい (保存させない設定はない)

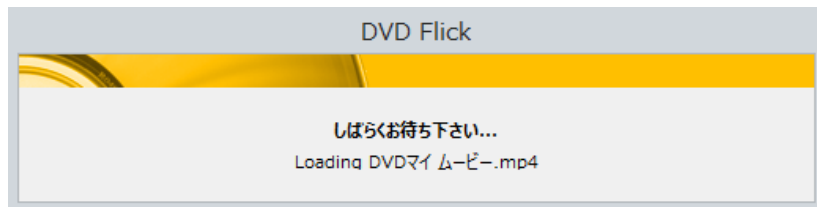
## 3). プロジェクトの設定 (最初に1回設定するだけ)

- ◆ 一般設定 エンコード優先順位 Below normal→Normal に  
スレッド数 2→1 に
- ◆ ビデオ設定 ターゲットフォーマル NTSC このまま  
エンコード品質 Normal→Best
- ◆ オーディオ設定 このまま

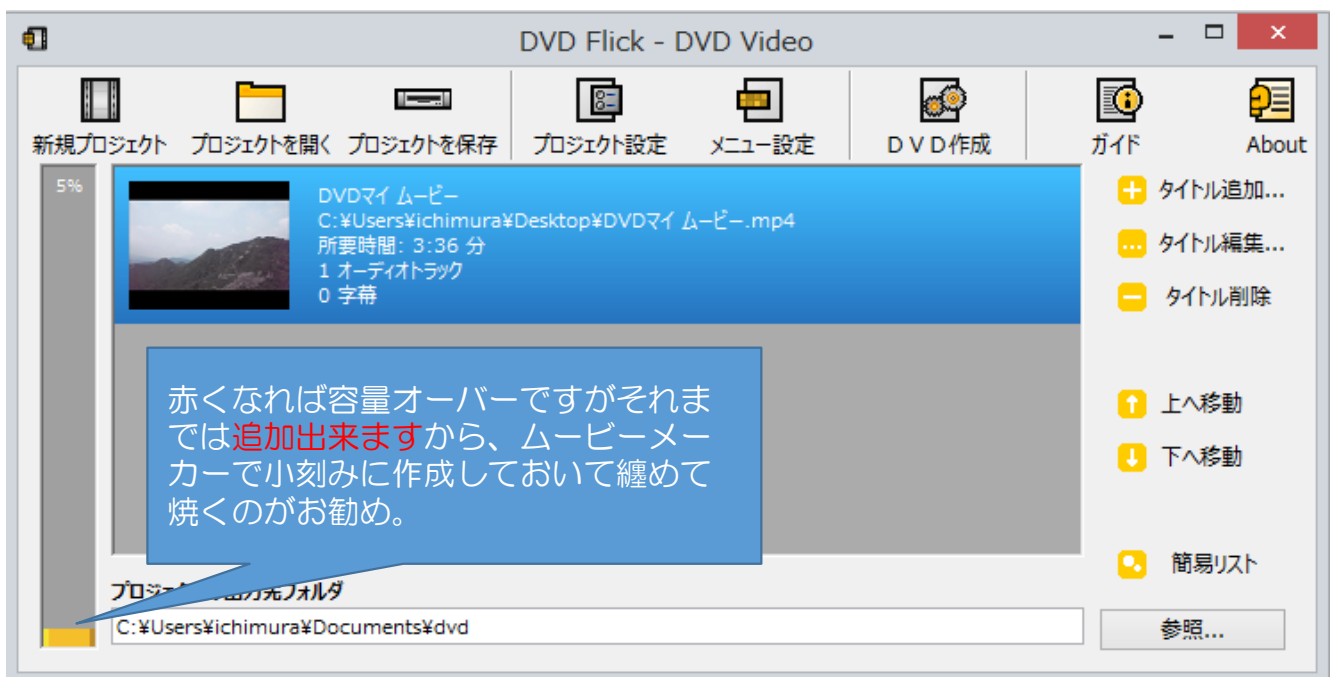
- ◆ 再生設定 最後まで再生したら最初からループ再生する→チェックを外す
- ◆ 書込設定 書込完了後にディスクを自動排出する→チェックを入れる  
ISO を作成するにチェックを入れるとPC内部に ISO が書き込まれます。後日2枚目を作成するときは便利ですが、PC容量を消費するので通常はチェックを外したままが良い。

#### 4). 動画呼び込む

しばらくお待ち下さいのメッセージが出ます。

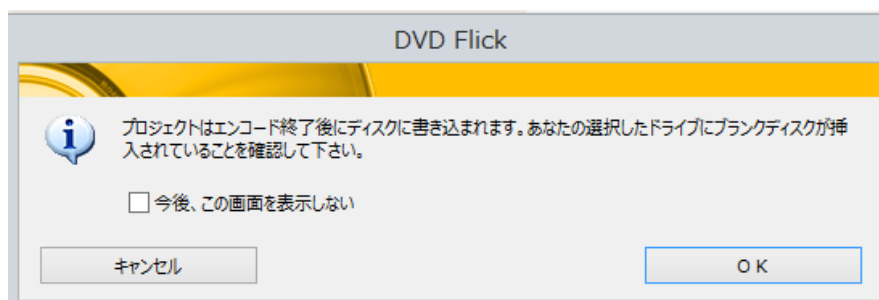


#### 5). 取り込まれた状態



#### 6). DVD 作成ボタンをクリック

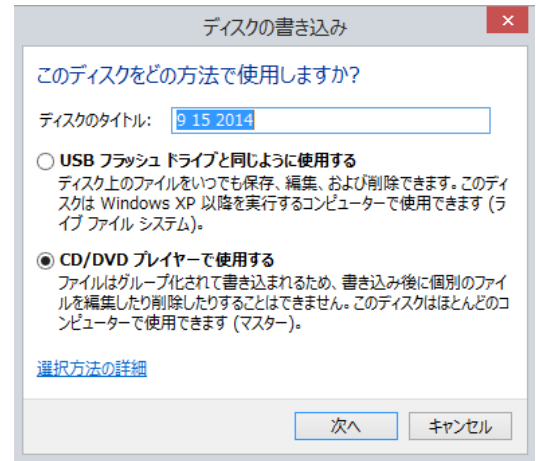
#### 7). 下記メッセージにOK、ドライブに DVD を挿入しておく



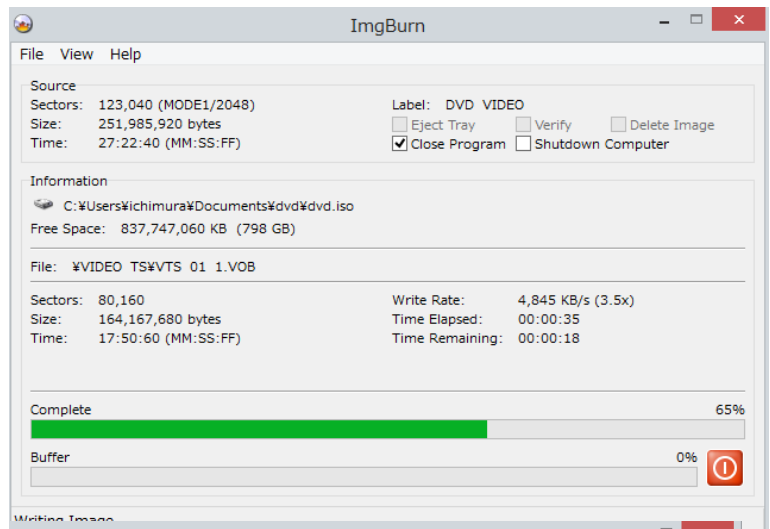


注：右メッセージが出た場合はキャンセル、  
これは DVD を挿入したことによる  
Windows からのメッセージで DVDFlick  
からのものではありません、

## 8). 処理状況が表示される



## 9). DVD 化 (オーサリング) が終了 すると ImgBurn が起動して DVD への書き込みが始まる



## 10). DVD 書き込み完了



再生時間 3.36 分 mp4 72.9MB のものが、私の PC で処理時間 9.16 分、容量は 239MB になっていました。

## 11. DVDに焼く (Windows 7)

### 1). 事前準備

Windows ムービーメーカーで動画 .wmv 作成保存. (DVD 書き込みを選んでいる場合は自動的に下記画面になります)

### 2). Windows DVD メーカー起動

①項目の追加から.wmv を読み込む。  
右図は.wmv が読み込まれた状態



### 3). オプションを確認

通常は触る必要はありませんが確認のために②をクリック

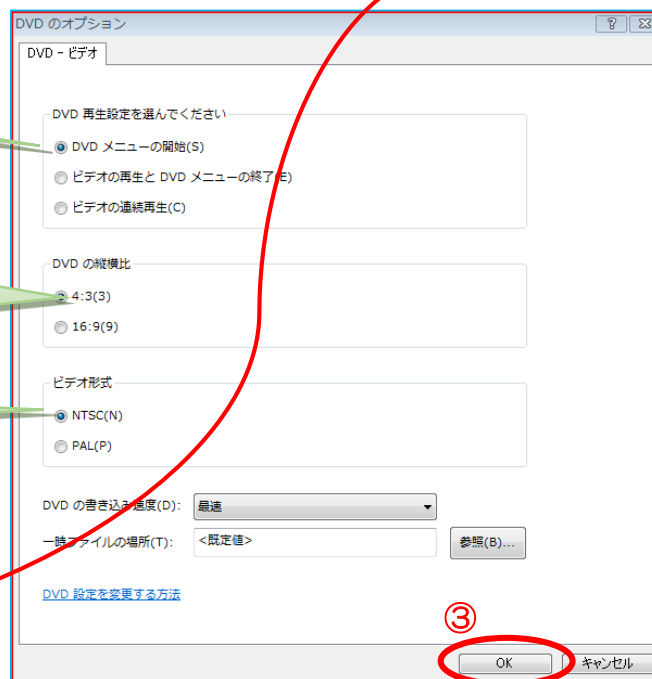
DVD メニューの開始

撮影した画像。写真の縦横比を選ぶ。4:3 で撮影したものに 16:9 を選ぶと縦が圧縮された画像になってしまうので注意。

NTSC を選択

③OKをクリック

### 4). 次へをクリック



## 5). メニュースタイルを選択する



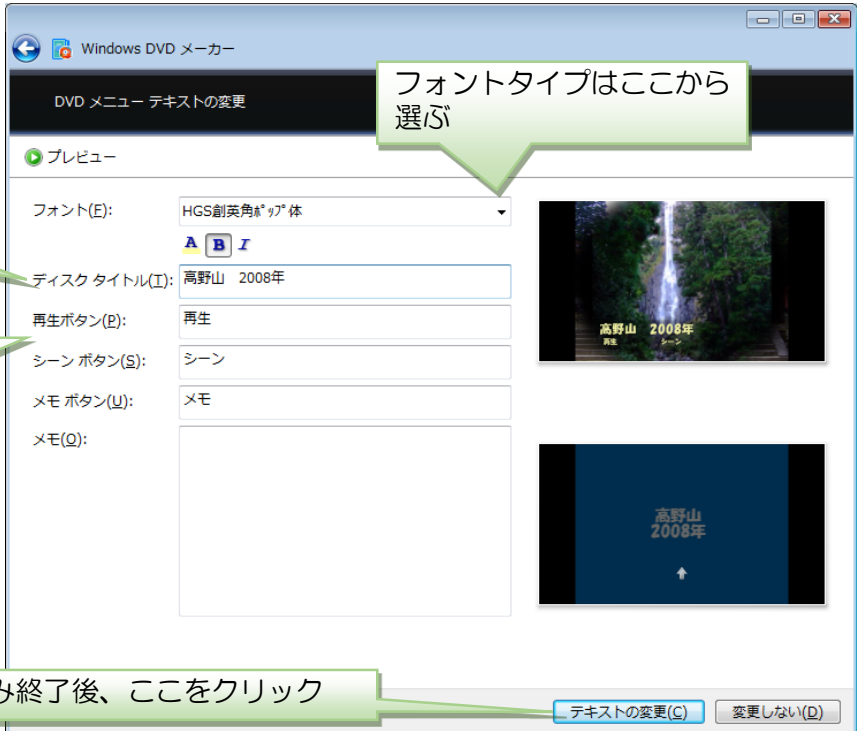
自動で書き込まれたタイトルなので、メニューテキストをクリックして、編集する。

色んなメニュースタイルがありますから、メニューをクリック、次にプレビューで確認することができます。左図はビデオウォールを選んだものです。

注：Windows Live ムビーメーカーでメニューを作っている場合は、その前にこのメニューが表示されますから重複表示ということになります。

書き込み(U) キャンセル

## 6). ディスクタイトルを書き込む



タイトル書き込み

特に触ることもない。再生段階では再生を選んで決定ボタンで再生が始まる。

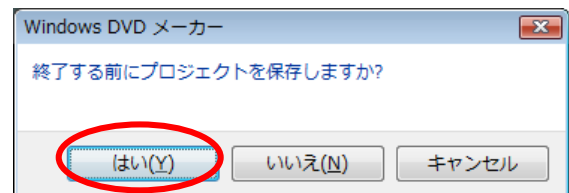
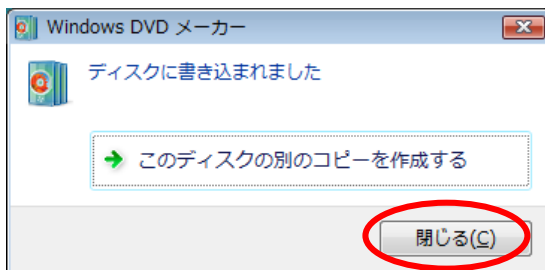
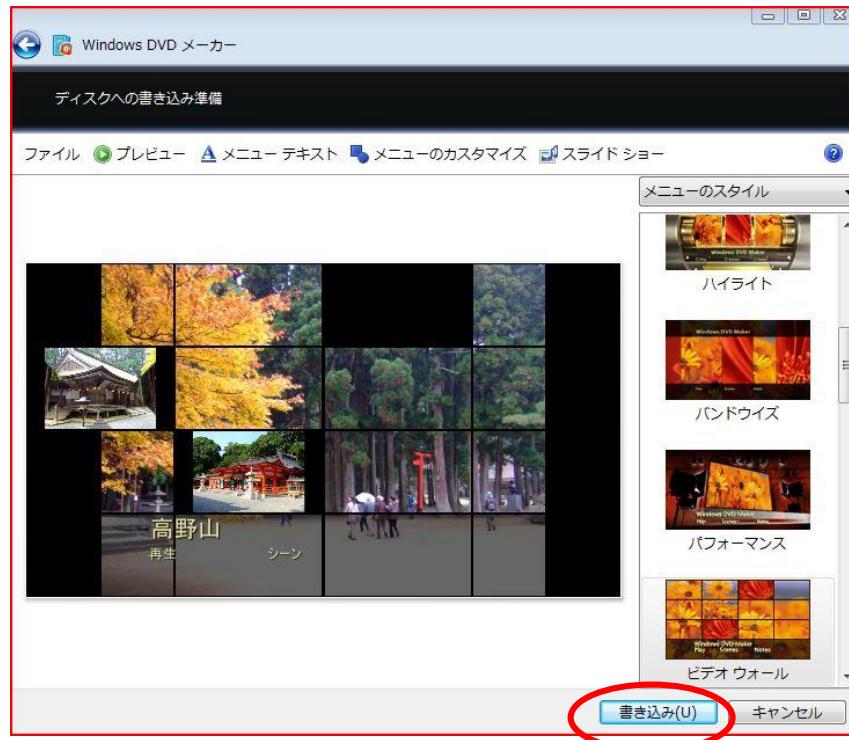
フォントタイプはここから選ぶ

書き込み終了後、ここをクリック

テキストの変更(C) 変更しない(D)

## 7). DVD を挿入して書き込み

タイトルが修正された「ディスクへの書き込み準備」画面が表示されるので、下部の書き込みボタンをクリックすると書き込みが始まります。



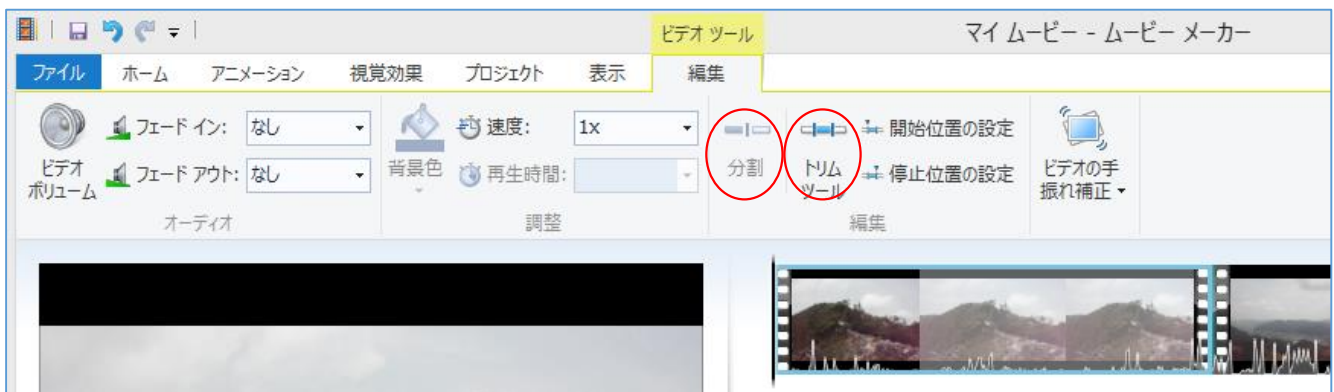


ここからは講座時間の関係で説明を省いた部分の記述になります。自主勉強の範囲になりますが、カッコいい動画、見やすい動画にするためにはどうしても必要なことであり、これから動画を楽しみたい人は是非勉強してください。自主勉強して分からなかったことは自由時間に質問してください。

## 12. 編集—不要部分のカット

不要部分のカットには、分割して不要部分を削除する方法とトリムツールを使う方法があります。いずれも画面を見ながら行うことが出来る簡単なもので、手順の少なさではトリムツール（トリミング）のほうが便利かもしれません。

編集タブにある「分割」もしくは「トリムツール」を使います。



### A. 分割／削除

再生ボタンを押してプレビュー画面を確認しながら、分割したい箇所で停止ボタンを押す。次に「分割」ボタンを押す。もしくは、タイムラインのスライダーをその箇所までドラッグして、「分割」ボタンを押す。

下にある再生ボタンを押して、停止ボタンを直ぐに押せる体制で再生画面を見る。分割したい箇所で停止ボタンを押し、それから分割ボタンを押す。

再生と連動してスライダーが動く。スライダーをドラッグすると左画面も連動して変わるので、分割したい箇所を選ぶことが出来る。微調整しにくいのが難点。

考え方

分割 分割 分割

頭をカットするなら、この一箇所の分割だけで、分割部分を**右クリックして削除**を選ぶ。

真ん中をカットするなら、この2箇所を分割しえから、分割部分を**右クリックして削除**を選ぶ。

カットしてもオリジナルファイルには一切影響ないので、安心して作業すること。

## B. トリムツール

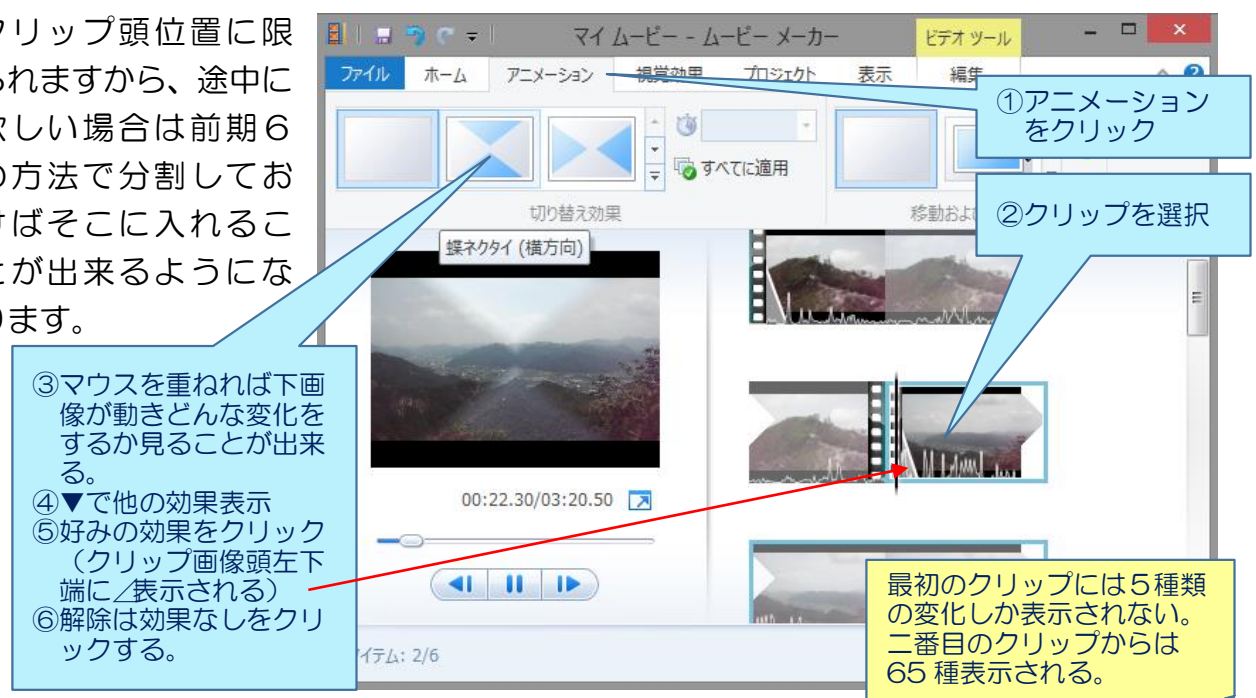
写真のトリミングと同じで、選んだ範囲だけが残り、選んでいない範囲が削除されます。

トリムツールをクリックすると下記画面になり、左側の画面下のシークバーを操作してトリミング範囲を決めます。



### 1.3. シーンが変わる切替え位置に画像変化（アニメーション）を加える

クリップの再生頭位置には、開始画面が徐々に現れるフェードインや市松模様などの効果を 65 種の中から選ぶことができます。アニメーションを加えることができるのはクリップ頭位置に限られますから、途中で欲しい場合は前期6の方法で分割しておけばそこに入れることができます。



## 14. 移動および拡大アニメーション効果

32種類の移動および拡大効果が準備されていますが、動画撮影ではポジションを狙いまたズーム（拡大）を取り入れながら撮影することもあり、その動画に効果を加える価値があるのかどうか実感出来ませんでした。写真からスライドショーにする場合には静止画像が動画風になることで効果を実感出来ますが、動画では疑問ですから説明を省略します。

## 15. テロップ追加

クリップに説明文を表示させるテロップは、ここではキャプションと云っています。

使い方は上記タイトルと同じ。クリップの長さの範囲で複数キャプション挿入可能。

テロップ挿入位置の画像を選んでおいてからクリックする。

挿入位置はここをつまんで移動することが出来る。

表示時間はここで調整。文章が長い場合は長く。

フォント種類、サイズ、色、太字などは、画面上の文字列をクリックしてからこの部分の各種ボタンで行う (Wordと同じ)

キャプション表示位置調整は、マウスを合わせて十字マークが出てからドラッグする。

削除は右クリックから削除を選ぶ。

## 16. クレジット追加

クレジットは映画終了後に出てくる監督や出演者のリストです。使い方はタイトルと同じですから興味のある人は行って見て下さい。講座では時間の関係上省略します。

クレジットをクリックすると右入力画面になる。

画面をクリックすると入力出来るようになる。

ここにクレジットが追加される。

## 17. 再生

DVD プレイヤーに挿入すれば再生が始まりますが、PCでは再生ソフトが入っていないと再生出来ません。メーカー製PCには DVDWin や PowerDVD などが入り再生出来ると思いますが、再生出来ない場合はフリーソフトである Media Player Classic Home Cinema をインストールすれば再生が出来るようになります。

以下のサイトからDR出来ます。

<http://senryaku.sengoku-jidai.com/Freesoft/MPC.html>

会場後部PCからの入手可能です。

インストールは全てOKで進めて大丈夫です。(日本語選択とか承諾にチェック)

再生はファイル[メニュー]→DVD/BD を開く→DVD ドライブ選択→VIDEO\_TS を選択